

KidWalk

Dynamic Mobility System



キッドウォーク 取扱説明書(暫定版)

KIDWALK 取扱説明書

この取扱説明書は、下記の項目から構成されています。

- ・組立方法
- ・計測と初期設定
- ・キットウォークへの乗り移り
- ・キットウォークからの乗り移り
- ・持ち運び／移動および収納時の分解
- ・安全にご使用いただくために。

本取扱説明書には、キッドウォークをご使用に際しての注意点が多数含まれております。

キッドウォークのご使用に際して、不明な点がございましたら、ご購入された販売店、またはオットーボック・ジャパンまでお問合せ下さい。

注意:キッドウォークの組立て/ご使用の前に、この取扱説明書を十分にお読み下さい。

注意:キッドウォークは、医師または、理学療法士・作業療法士の指導に従ってご使用下さい。

キッドウォークをお届けする際には、ご注文いただきましたオプションパーツ等が組付けられた状態となっております。ご質問等がございましたら、キッドウォークを購入された販売店、またはオットーボック・ジャパンまでお問合せ下さい。

組立方法

キッドウォークは、下記の手順で簡単に組み立てることができます。

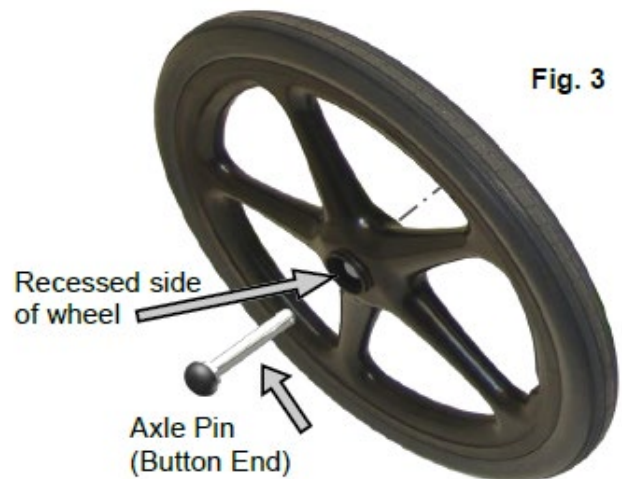
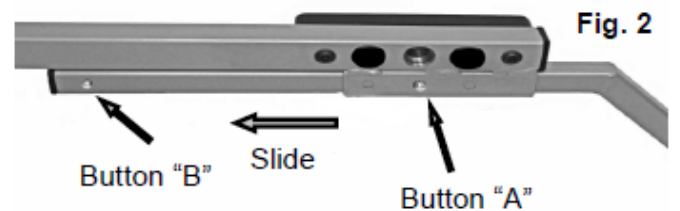
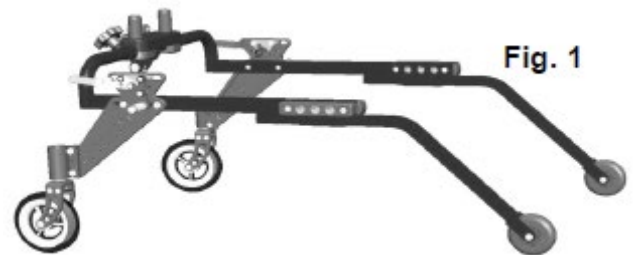
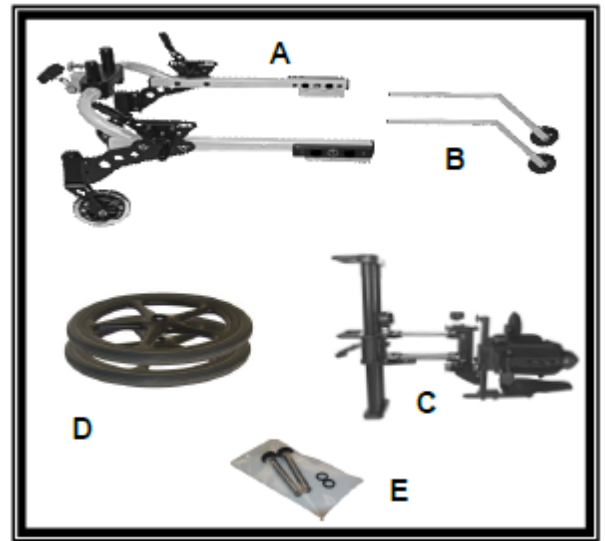
まず、キッドウォークが入っている箱を開いて、下記のものが入っていることを確認してください。

| 図 | 数量 | 品名 |
|---|----|--|
| A | 1 | ベースフレームセット |
| B | 2 | 転倒防止装置(組付済み) |
| C | 1 | マスト(メインユニット)セット |
| D | 2 | ホイール(大車輪) |
| E | 2 | 車軸 |
| E | 2 | 車軸用スペーサー(サイズ 1 のみ) 標準プラスチックホイールの場合: 2 個 スポークホイールの場合: 4 個 |

その他にご注文いただいたオプション等のパーツも、同じ箱に梱包されています。

組立手順

1. ベースフレームを写真のように平らな面に置きます。
2. 車軸位置に合わせて、転倒防止装置の位置を調整します。転倒防止装置の内側についているボタン A を押して、3 つある穴の真ん中にセットします。転倒防止装置を取り外す場合は、ボタン A、及びボタン B を押し、フレームから外します。
3. 車軸と車軸用スペーサーをビニール袋から取り出します。まず、車軸をホイールに挿入します(ホイールの中心が凹んでいる側から挿入します)。車軸についているボタンを押しながらホイールの反対側まで貫通させます。また、そのままボタンを押しながら、スペーサーをはめ込みます。



※プラスチックホイール(標準)の場合は、車輪 1 つにスペーサー1 個をはめ込みます。

※スポークホイール(オプション)の場合は、車輪 1 つにスペーサー2 個をはめ込みます。

4. ベースフレームの車軸受け部分を確認します。車軸のボタンを押しながら、穴が 3 箇所あるうちの真ん中の穴に車軸を差し込みます。同様に、反対側もセットします。

注意: 車軸をセットした後は、車軸が完全に挿入されて抜けないことを確認してください。

注意: 初期設定の際は、必ず車軸受けの真ん中の穴に車軸を差し込んでください。

初期設定のブレーキは、この車軸位置に合わせてセッティングされています。

5. マストセットを、ロケーターピンにセットします。その後ピンロックを 90 度回転させ、ピンが完全にマストセットにはまっていることを確認してください。ピンロックにより、マストセットとベースフレームが完全に連結されていることを確認してください。マスト用ピンロックを確認します。ピンを引っ張って90度回転させることで、ピンロックを解除したまま固定することが出来ます。マストセットを持ち上げたときに、ベースフレームから外れてしまうようであれば、再度ピンロックを回転させ、マストに完全にはまるようにしてください。

※マストセットを少し後方に引くようにすると、ピンロックがはまりやすくなります。

注意: マストセットとベースフレームが確実に固定されていることを、常に確認してください。

Fig. 4

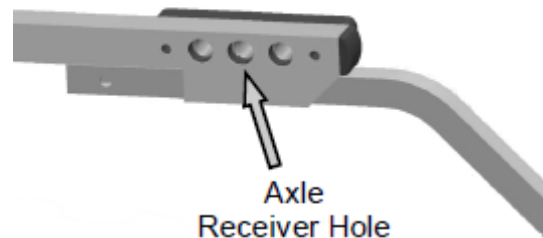


Fig. 5

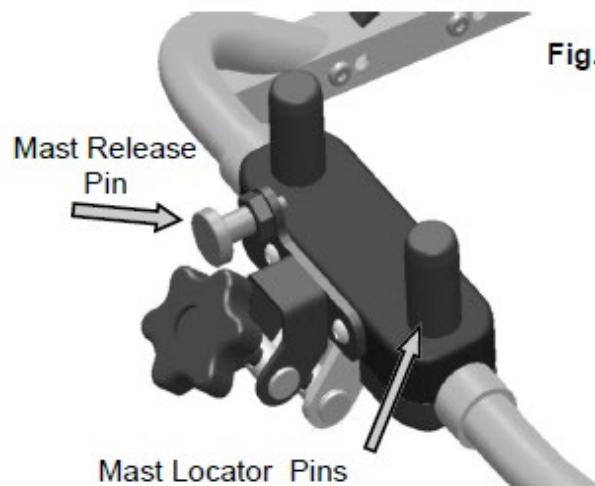
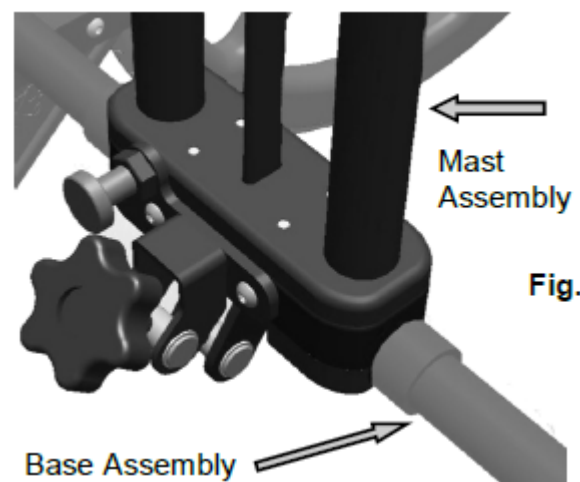


Fig. 6

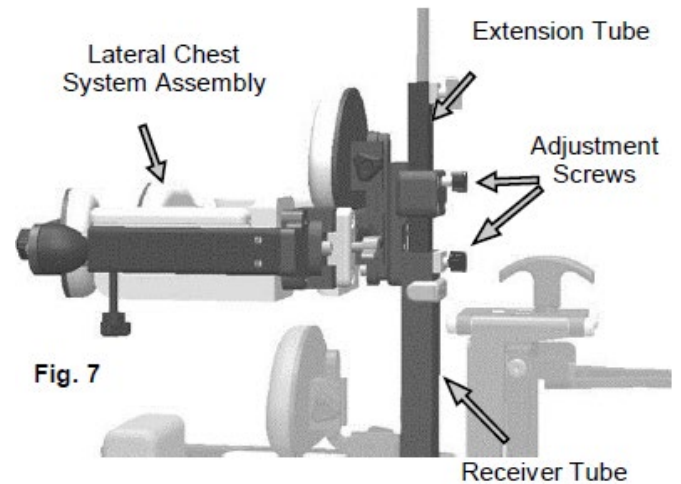


オプションパーツの組立方法

ご注文されたオプションパーツに関する記載が下記に含まれていない場合は、個別の説明書がオプションパーツに添付されております。

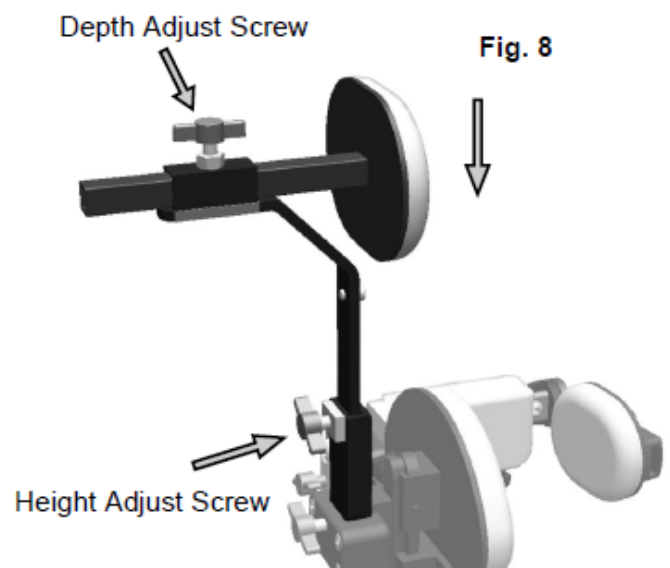
体幹サポートシステム

体幹サポートシステムの付いたエクステンションチューブを、レシーバーチューブに差し込みます。体幹サポートシステムを適切な高さにセットしたら、調整ボルトを締めて固定します。



ヘッドパッド／ヘッドレスト

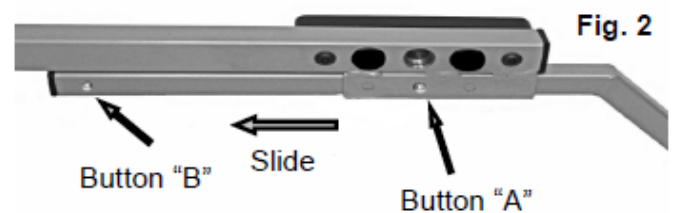
ヘッドパッドが前方に向くように、エクステンションチューブに差し込み、希望の高さ及び前後位置に設定したら、調整ボルトを締めて固定します。



クルーザーホイール(サイズ 1 のみ)

まず、転倒防止装置を取り外します。プッシュボタン“A”を押して、出来るだけ前方に転倒防止装置をスライドさせます。その後、ボタン“B”を押して、転倒防止装置をフレームから抜き取ります。

クルーザーホイールのボタン“B”を押しながら、フレームに差し込んで貫通させます。その後、ボタン“A”を押しながらクルーザーホイールの位置を決定します。この段階では、真ん中の穴にボタン“A”がくるようにセットします。



注意:キッドウォークは、転倒防止装置またはクルーザーホイールをセットした状態でご使用下さい。クルーザーホイールを外した場合には、必ず転倒防止装置を装着してください。

採寸と初期設定

キッドウォークのご使用に際し、下記の項目の計測が必要です。

- ・股下高さ
- ・腰の幅
- ・胸の幅
- ・股下から脇の下
- ・股下から頭の高さ

初期設定

座面の高さ

高さ調整は、高さ調整ハンドル、または微調整用ハンドルによって行います。

計測した股下高さより、約 2.5cm 低く設定しておきます。

●座面の高さを上げるには・・・

マストの一番上を押さえながら、高さ調整ハンドルを引き上げます。

●座面の高さを上げるには・・・

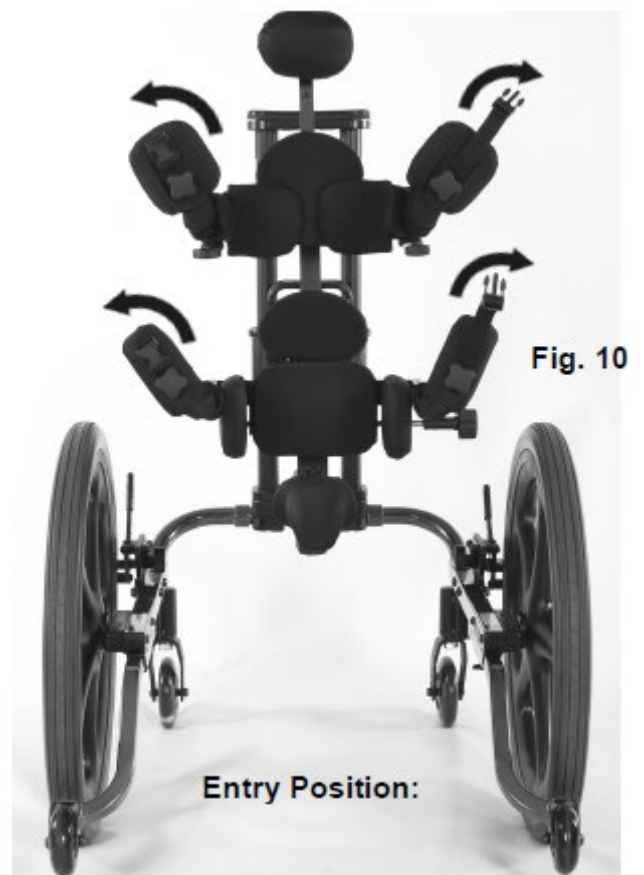
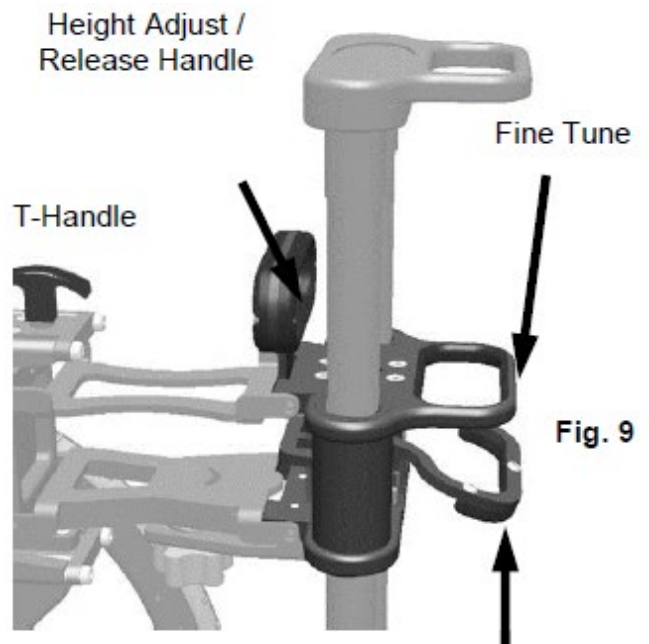
微調整用ハンドルを握り、下側のレバーを掴んで上下させると、少しずつ高さを上げることができます。

●座面の高さを下げるには・・・

高さ調整ハンドルを上から押さえると、サドルが下がります。この際、極端な荷重をかけないようにしてください。高さ調整ハンドルを押さえのをやめると、サドルはその位置で止まります。

安全のために、サドルに荷重をかけたまま、サドルを下げる調整をしないで下さい。

移乗の前に、各サポートパッドが十分に高く、またユーザーが入れるように十分に拡げられていることを確認してください。そのほかのオプションの高さ・幅なども、計測値に適合するようにセッ



トしてください。

注意:キッドウォークをご使用の際は、ご使用者から眼を離さないように注意してください。

骨盤ガイド

●前方サポートパッド

前方のパッドを跳ね上げて、外側に開いてください。Lateral Support を併用している場合は、その前方のパッドも同様に外側に開いてください。

●側面サポートパッド

ユーザーが入れるように、調整ノブを回して Hip pad を十分に広げてください。調整ノブを右方向（時計回り）に回すと、幅が広がります。左方向（反時計回り）に回すと、幅が狭くなります。

体幹サポートシステム

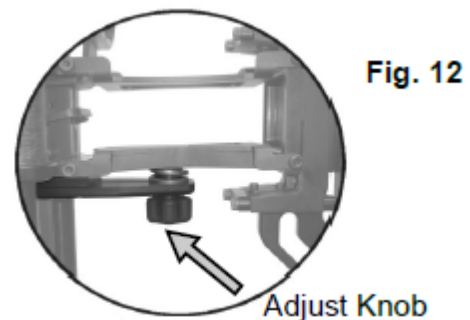
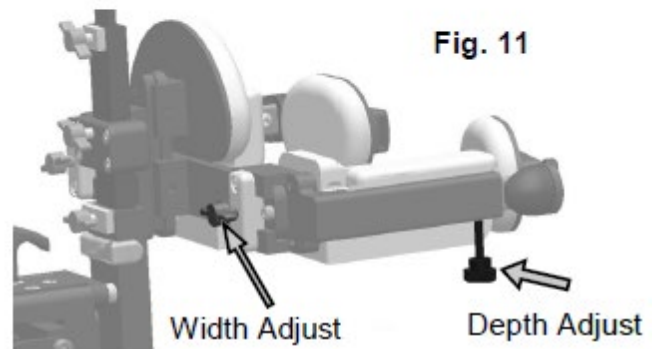
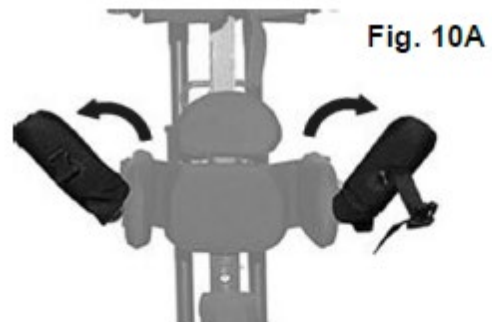
ユーザーが入れるように、左右の後方にあるノブを緩めて、パッドを十分に広げてください。これらのパッドは、ユーザーが移乗した後に再調整を行います。

注意:前方のパッドはユーザーが入れるように前側に広げておいてください。また、ユーザーが移乗したら、一旦ノブを締めてパッドを固定し、ユーザーを支えられるようにしてください。

スプリング調整

スプリングの前後位置を移動することで、キッドウォーク使用時の上下移動の量を調整することができます。スプリングを前方に動かすと、上下移動の量を減らすことができます。スプリングを後方に動かすと、上下移動の量を増やすことができます。

調整が終了したら、調整ノブをしっかりと閉めてください。



キッドウォークへの乗り移り

●まず、両側のブレーキをかけます。

●ユーザーをキッドウォークの中に立たせ、できるだけ臀部を後ろ側のパッドに近づけます。臀部と背面がキッドウォークのパッドに触れたら、前方のパッドを閉じます。

まず骨盤ガイドの前方パッドをユーザー側にスライドさせ、腰部をぴったりと支持するようにし、調整ボルトで固定します。

座幅の調整

●調整ノブを回してパッドをスライドさせ、パッドが腰部の側方をぴったりと支持するようにします。

注意:最初に、ユーザーの臀部の後ろ側が、出来るだけキッドウォークのパッドに近くなるようにポジショニングします。ユーザーが、なるべく後ろに座った方が好ましいです。

●前方のバックルをはめ、ストラップを緩みのないように引きます。

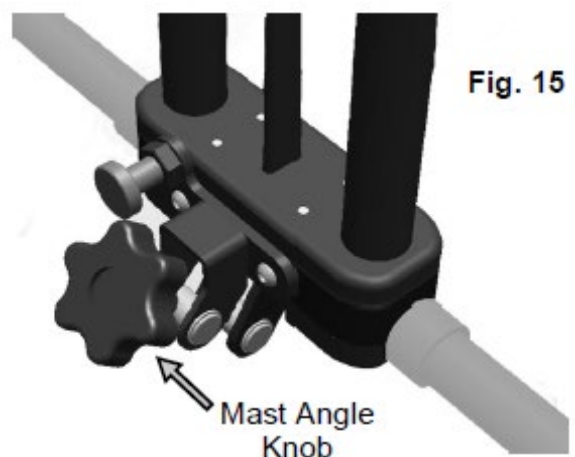
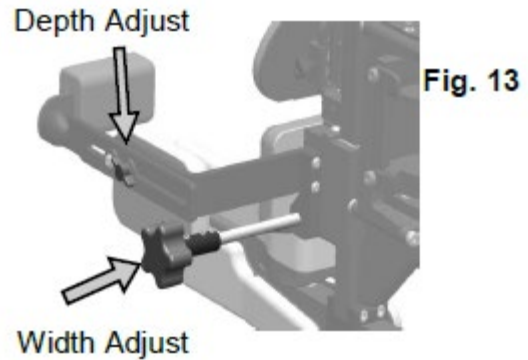
マスト角度の調整

キッドウォークでは、マストの角度を前方にも後方にも調整することが出来ます。

マスト角度を調整する前に、全てのパッドが調整され、ユーザーがキッドウォーク内で支持されていることを確認してください。

マスト角度調整の分を右方向(時計回り)に回すと、マストは前方に傾きます。左方向(反時計回り)に回すと、マストは後方に傾きます。

注意:マスト角度を調整するときは、なるべくKIDWALK 本体に、ユーザーの荷重がかからないようにしてください。例:①ユーザーのサド



ル荷重を減らすポジションをとる。②ブレーキをかけ、マスト上部のハンドルを後方に引く、などです。

過度な負荷をかけた状態でマスト角度を調整すると、破損の恐れがあります。

サドルの前後調整

工場出荷時には、真ん中の車軸位置を想定したポジションでサドルがセットされています。サドルの前後位置を変更する場合は、サドル側方と下方にある2つのボルトを緩めます。サドルの前後位置を調整したら、再度これらのボルトを締めなおしてポジションを固定します。

注意: 調整が終了したら、両方のボルトを確実に締めなおしてください。

車軸位置の調整

車軸位置は前後3箇所の調整が可能です。車軸はクイックリリース式で、真ん中のボタンを押しながら外側に引くと、車輪が外れます。また、同様にボタンを押しながら、希望の車軸位置に車軸を挿入します。車軸位置を変更したら、車軸が車軸受に確実にハマって外れないことを確認してください。

注意: 車軸位置を調整する際には、ブレーキ位置の調整も同時に必要になります。別項の「ブレーキ位置の調整」も必ずお読み下さい。

ブレーキの位置調整

工場出荷時には、車軸位置は3段階のうち真ん中にセットされており、ブレーキもそれに合わせてセッティングされています。車軸位置を変更する際は、ブレーキ位置も変更する必要があります。

ブレーキ位置を変えるには、ブレーキ内側についているプラスチックノブを回して取り外します。

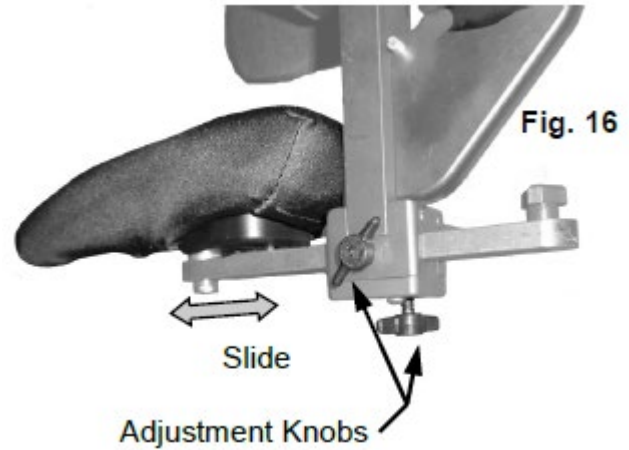


Fig. 16



Fig. 17

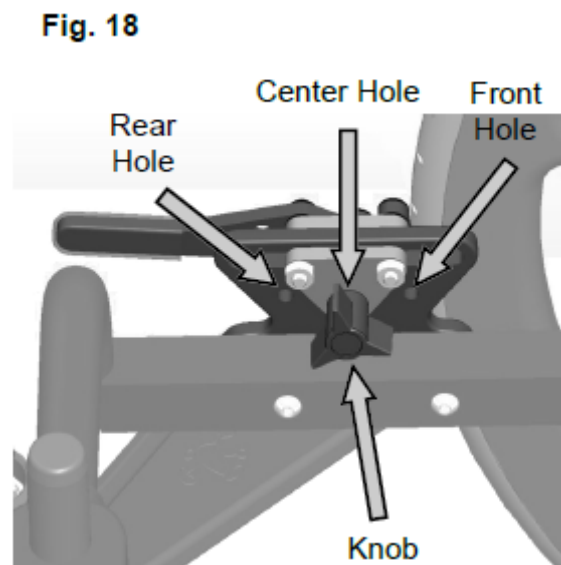


Fig. 18

新しい車軸位置に合わせて、ブレーキの前後位置を変更します（車軸位置／ブレーキ位置ともに3段階の調整となっています）。プラスチックノブのボルトがはまる位置を見つけて、再度プラスチックノブをしっかりと締め、ブレーキを固定します。

注意: キッドウォークを使用する前に、ブレーキが適切に調整されていることを確認してください。
ブレーキは、ホイール(大車輪)を確実に固定できるように調整してください。

オプションについて

体幹サポートシステム

●高さ調整

Lateral Chest System の高さをエクステンションチューブに沿って調整します。希望の高さで、調整ボルトを締めて、確実に固定します。

●幅調整

側方パッドをお子様の身体に寄せ、希望の位置で調整ボルトを締めて、確実に固定します。前方のパッドは、調整後必ずバックルを固定してください。

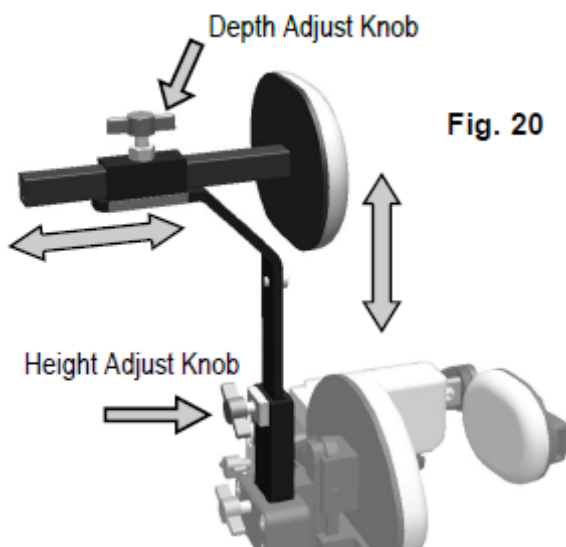
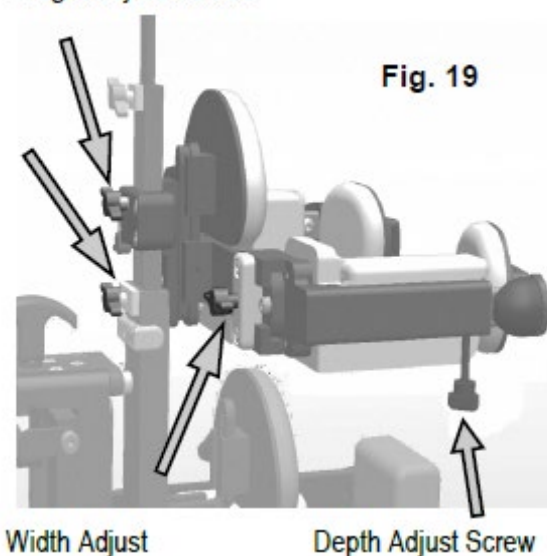
●奥行調整

前方のパッドの前後位置を調整し、前方のパッドと背面のパッドでお子様の体幹を保持するように調整します。希望の位置で調整ボルトを締めて、確実に固定します。

ヘッドパッド

ヘッドパッドの位置は、上下・前後に調整が可能です。希望の位置で調整ボルトを締めて確実に固定します。

Height Adjust Screws



キッドウォークからの乗り移り

- まずブレーキをかけて、キッドウォークを確実に固定します。
- 骨盤サポート、および Lateral Chest System の前方のバックルを外します。
- 前方のパッドを跳ね上げて、乗り移りの空間を作ります。
- レッグラップ、ボディラップ、レッグストラップ等、お子様の身体に装着したオプションも全て取り外します。
- お子様を前方に持ち上げ、下ろします。

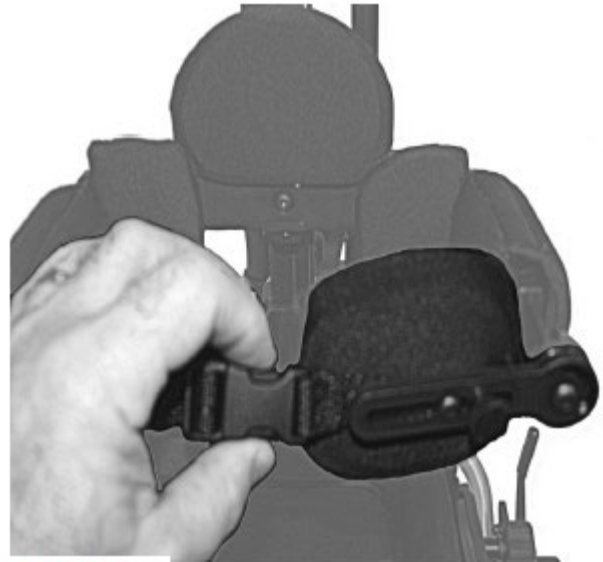


Fig. 21

持ち運び／収納時の分解

キッドウォークは、持ち運びや収納のために、簡単に分解することができます。

- マストユニットを外すには、まずピンロックを引き、90度回転させます。この状態で、マストユニットを上方に持ち上げると、ベースフレームから取外すことができます。

- ホイール(大車輪)も簡単に取り外しが可能です。車軸中央のボタンを押しながら、車輪を外側に引っ張ると、車輪が外れます。

注意: キッドウォーク サイズ 1 の車軸には、スペーサーが付いています。ホイールを取外す際には、このスペーサーを紛失しないようにご注意ください。

注意: キッドウォーク サイズ 2 でスポークホイールをご使用の場合、車軸にはスペーサーが付いています。ホイールを取外す際には、このスペーサーを紛失しないようにご注意ください。

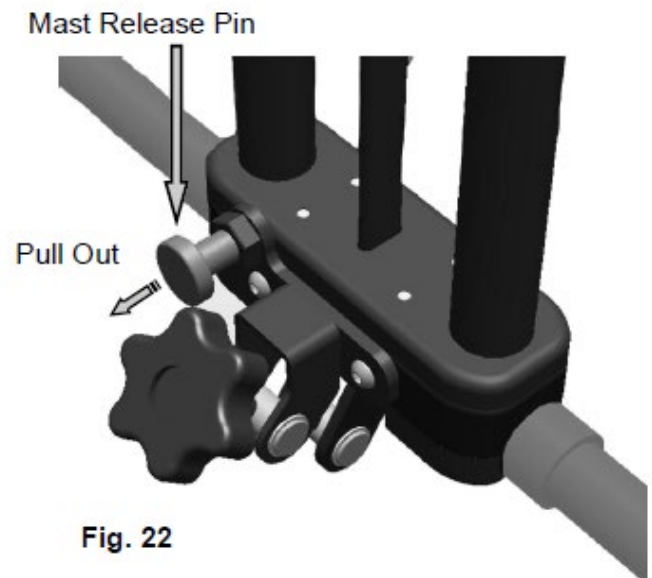


Fig. 22

注意事項

- 転倒防止装置は常時装着し、常にご使用下さい。
- 転倒防止装置は、ホイール(大車輪)に合わせて、適切に調整してください。
- 前方のパッドのストラップは、キッドウオーク使用中は必ず固定してください。
- お子様をキッドウオークに乗せたまま、自動車に乗らないで下さい。
- マストユニットのピンロックが固定されていることを、必ずご確認ください。
- ブレーキは、ホイール(大車輪)に合わせて、適切に調整してください。
- 全ての調整ボルトを、確実に固定してください。
- 骨盤サポート部の幅調整がきつすぎないように注意してください。
- お子様をキッドウオークをご使用の際は、必ず管理者の方が付き添ってください。
- ホイール(大車輪)の車軸が確実に挿入され、抜けなくなっていることを確認してください。
- キッドウオークをバウンサーやジャンプ用の遊具として使用しないで下さい。

本製品のご使用に当たって

- キッドウオークは、お子様が地面に足を付けて歩行の練習を行うための訓練器具です。
- 水平な場所でのみご利用下さい。
- 耐荷重は、サイズ1:30kg、サイズ2:41kgです。
- 適応する最大股下寸法は、サイズ1:約55cm、サイズ2:約70cmです。

メンテナンス

- 1週間に1度、調整ボルトやナット類が確実に固定されており、脱落していないかを確認願います。
- 可動部のスムーズな動きを保つため、ホコリやごみを付着させることを防いでください。
- 全てのカバーファブリックは、冷水で、中性洗剤で手洗いし、自然乾燥させてください。

廃棄について

本製品を廃棄する際は、お住まいの各自治体の指示に従って、適切な廃棄方法をとってください。

オットーボック社取扱店

掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

オットーボック・ジャパン株式会社

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-9-9 野村不動産芝大門ビル 4F

TEL. 03-6403-1061(代表) FAX. 03-6435-8082

www.ottobock.com/ja-jp/mobility